

九州観光推進機構 活動レポート

— 2011年11月号 —

感動がある。物語がある。九州



◆ 10月のトピックス

○ 韓国・パワーブロッガーを招請 (10月4日:九州各地)

韓国では旅行情報はブログなどのインターネットを通じて得られる傾向があるため、ポータルサイトNAVERの人気ブロッガーであるパワーブロッガーを招請し、九州各地(九州7県)の取材を行っていただきました。各パワーブロッガーはグルメ、温泉、夫婦旅行、日本酒、ショッピングなどのテーマに沿って、九州ならではの旅を体験しました。帰国後は、自らのブログに取材内容を掲載し、九州のイメージをPRしてもらいます。なお、各ブロッガーの行程は、当機構のホームページで個人旅行者向けのモデルルートとして掲載する予定です。



○ 「来て見て食べて感動!九州観光・物産フェア with 東北2011」を開催 (10月8日~10日:東京)

「来て見て食べて感動!九州観光・物産フェア with 東北2011」(主催:「来て見て食べて感動!九州観光・物産フェア」実行委員会)を代々木公園で開催しました。5回目となる今年は、「がんばろう東北」へのメッセージも込めて、東北の名産品の実演販売を含む合計56店がブースを出展し、九州のグルメ、名産品や飲料の実演販売が行われました。また、ステージでは、九州各自治体の観光PRで「くまモン」をはじめ九州各県のゆるキャラが大集合したほか、郷土芸能として「長崎龍踊り」「小倉祇園太鼓」が披露され、会場を盛り上げました。



今回のフェアは新たな取り組みとして、全ての出展者を対象に、来場者の投票による「グルメコンテスト in Yoyogi」を「実演の部・販売の部」の2部門で実施するとともに観光PRブースでは、高千穂彫り物体験、野菜ソムリエによる簡単鹿児島ゴーヤ料理教室、別府竹細工体験を行いました。



3日間は好天に恵まれたこともあり、来場者は昨年(14万人)を上回る過去最高の14.2万人が訪れ、好評のうちに終了しました。

○ 韓国「第8回日本歌謡大会」に協賛 (10月8日:釜山広域市)

日本文化の理解促進等を目的として、在釜山日本国総領事館、対馬市、社団法人釜山韓日文化交流協会の主催により「第8回日本歌謡大会」が開催されました。

日本歌謡大会は例年6月に開催されますが、今回の大会は東日本大震災等の影響により10月開催となりました。大会には600組がエントリーし、17組が予選を勝ち抜き決勝に進みました。会場には前回大会(約200人)を上回る約300人の来場者があり、年々盛況になっています。



表彰式では、当機構から「九州観光推進機構賞」として、優秀者に選ばれた「イ タギョン氏」「イ ホソン氏」「キム ハナ氏」に、フェニックスシーガイアホテル、霧島いわさきホテル、JR九州高速船からご提供いただいた宿泊券(1施設)、福岡・釜山往復「ビートル乗船券」の旅行目録を授与しました。

○ シンガポール「平成23年度VJ中央事業(JAPAN TRAVEL & FOOD FAIR 2011)」に出展

(10月8日～9日:シンガポール)

シンガポール高島屋において「平成23年度VJ中央事業(JAPAN TRAVEL & FOOD FAIR 2011)」に出展し、九州の観光PRを行いました。この事業は、10月をJapan Monthとして位置づけ、訪日旅行の「完全復活」をPRするために行われたものであり、会場では自治体等による観光情報提供のほか、現地旅行会社による日本旅行商品の販売、日本特産物「食」の試食会・即売会などを実施しました。フェアは近隣諸国のお客様が訪れる店舗で行われたため、週末はシンガポールを始めとする、インド、インドネシア、マレーシア等の多くの富裕層の方々が来場され効果的に九州をアピールするとともに、九州への興味、関心度が非常に高まっていることが感じられました。



○ 中国・西日本広域観光ルートをテーマにメディアを招請 (10月11日～13日:福岡、佐賀、長崎、大分)

中国市場に向けて関西～中国～九州にかけての西日本広域観光ルートを紹介するため、近畿運輸局等と連携して中国の有力旅行雑誌等5社を招請し、取材が行われました。メディア一行は近畿・中国地域で取材を行った後、九州を訪れて太宰府天満宮・有田・長崎市内・由布院など、九州独自の歴史と文化が感じられる観光地を精力的に取材しました。また、近畿・中国と九州を結ぶ鉄道やフェリーについても取材が行われたことから、九州から近畿までの広域的な観光ルートについて具体的な情報が発信されるものと期待されます。このような広域観光ルートについては、一定のニーズが見込まれるため、今後も九州外の各地域と連携しながら、積極的なPRを行っていきます。



○ インドネシア「TTC TRAVEL MART INTERNATIONAL 2011」に出展 (10月12日:ジャカルタ市)

インドネシアで年2回開催される旅行関係者向け商談会「TTC Travel Mart International 2011」に出展し、現地旅行会社に向けて九州観光素材のPRを行いました。セラー側(九州からの旅行会社など)100社、バイヤー側(現地旅行会社)200社程度が参加しました。現地旅行会社は、関東・関西ルートに次ぐ新しい destinations を強く求めていたため、多くの会社が九州に興味を示しており、初めての出展で九州観光を効果的にアピールできました。



○ 台湾・イベント開催に合わせた九州観光をPR (10月12日～24日:台北市)

先月の台中市での観光PRに引き続き、台北市の日系の百貨店(太平洋崇光百貨)主催の日本物産展において、九州観光のPRブースを設置し、九州の楽しい列車の旅を掲載したチラシの配布、タブレット型PCを用いた観光説明、ジャンケン大会等によるノベルティの提供、九州観光のDVD上映などを行い、一般消費者に向けた九州観光情報を発信しました。

また、10月14日、15日は、宮崎県日向市「橘ひよつとこ踊り保存会」の7名が踊りを披露し、会場では大きな盛り上がりが見られました。この踊りの披露は、台中市で披露した山鹿灯籠踊りとともに、台湾で九州により一層親近感を持っていただく機会となり、九州の楽しいイメージの向上に寄与することができました。



○ 京都府議会農商工労働常任委員会が当機構を視察（10月20日：福岡市）

京都府議会の農商工労働常任委員会（委員長：秋田 公司氏）8名が、九州の観光振興の取り組みを調査するため、当機構を視察しました。当機構から機構設立の経緯や、現在推進中の第三次九州観光戦略の各種事業などについて説明し、出席されたすべての委員から質問をいただくなど、官民一体となって広域観光を推進している当機構に大きな関心が寄せられました。また、当機構からは、九州新幹線鹿児島ルート全線開業を生かした、九州と京都方面の一層の観光交流促進、九州観光PRへの協力を要請しました。



○ 「平成24年度上期観光素材説明会・相談会」を開催（10月20日：東京、25日：大阪）

「平成24年度上期九州観光素材説明会・相談会」を東京、大阪で開催しました。今回は「食&温泉」をテーマに九州7県の説明会・相談会を行いました。

東京はJR九州との共催により旅行会社27社・マスコミ10社の計210名の参加、大阪は旅行会社15社・マスコミ1社の計78名の参加があり、説明会に続いて実施した相談会では、旅行会社が各県のブースを回って熱心なやり取りが交わされました。

九州への誘客は、東京で120%、大阪250%の増となっており、今後も新しい九州観光情報の発信を強化することにより、より多くの観光客誘致が期待できます。



○ 韓国「ビジット・ジャパン九州観光説明会・商談会」を開催（10月20日：ソウル特別市）

国土交通省九州運輸局との共催により、現地旅行会社を対象に「ビジット・ジャパン九州観光説明会・商談会2011」を開催しました。日本側からは九州各県より観光関係者72団体、116名が参加し、韓国の旅行社やマスコミ99社166名に九州の魅力をPRしました。

説明会・商談会では、富裕層向けのワンランク上のブランド「ロハス九州」、九州の豊富な観光資源を取り入れたウォーキングコース「九州オルレ」、人気の高まっている「九州B級グルメ」などをアピールし、九州への誘客促進を図りました。



○ 中国・九州情報誌「南国風」を招請（10月21日～24日、10月30日～11月3日：九州各地）

中国の九州専門情報誌「南国風」を発行する上海征西広告の記者及びカメラマンを招請し、今年12月発行予定の第3号の特集記事の取材を行いました。

今回は、中国の春節時期の九州旅行需要喚起を図るため、一つは「九州の旅館」を取材テーマとして、各地の旅館の女将さんへのインタビュー等を行い、おもてなしの心が伝わる内容としました。

また、もう一つは「鉄道の旅」をテーマに、南九州を走る観光列車の取材を行い、乗車すること自体を楽しめる九州の個性的な列車をPRします。今後も同誌を通じた中国における九州の認知度向上に取り組むことにしています。



○ 「南九州たびフェア in 岡山」に参加（10月22日～23日：岡山市）

JR西日本が主催する岡山駅前のイベント「南九州たびフェア in 岡山」に熊本県、宮崎県、鹿児島県とともに参加し、各県の物産や観光スポット、新幹線を利用した九州旅行などのPRを行いました。

開催期間中は概ね天候に恵まれたことから、来場者は22日8,000人、23日に10,000人となりました。九州観光推進機構は、参加していない福岡、佐賀、長崎、大分各県の情報を発信するとともに、ブース内では、各県に興味をもっていただけるような問題で構成したミニクイズラリーを行い、2日間で1,300人が参加されました。



○ 香港・旅行写真家「九州情濃」を発行（10月22日）

2009年秋に九州各地を取材した香港の旅行写真家Celia Chengさんが、満を持してその取材成果を単行本（知出版、HK\$78）として発表しました。本人の「C遊欄度」シリーズの7作目であり、日本紹介は、飛騨、中部、四国、東北、北海道に次ぐ6作目です。

写真やイラストが豊富で全体的に読みやすく、手作り感、親近感があり、九州の認知度、好感度の向上に寄与するものと期待されます。



○ 台湾・メディア(テレビ番組)を招請（10月22日～27日：九州各地）

台湾内外のローカルグルメを紹介して人気を博しているTVBSのテレビ番組『食尚玩家』の取材陣が、湯布院、別府、嬉野、肥前夢街道、長崎、柳川、太宰府、福岡など北部九州で撮影収録を行いました。同番組は、バラエティ風に仕立てた紹介で好評を博しており、その司会者（陳秉立氏、謝炘昊氏）の2人は、九州入りの前日に台湾最優秀最人気司会者賞を授与され、九州は受賞後初の取材となりました。

今回の撮影は、来年2月に2回に分けて放送予定であり、台湾で注目されている司会とあって九州への関心がさらに高まり、九州観光の一層のPR効果が期待されます。



○ 香港・日本文化協会(Japan Society)イベントを活用して情報発信（10月23日：香港）

現地で高い評価の日本語講座を開設する香港日本文化協会(Japan Society;2011年度外務大臣表彰受章)は、在香港日本総領事館、JNTO香港、国際交流基金及び当機構等からの後援、日本航空、日清製粉、味珍味及び李錦記等からの協賛により、九龍灣国際展貿中心(International Trade & Exhibition Centre)を会場として「全香港日本事情クイズ大会2011」を開催しました。

参加228チーム(1チームは3人)約700人のうち、全員回答(60問)で予選を勝ち抜いた5チームが決勝に進み、ステージ上で決勝戦(50問)に挑みました。

クイズは、阿蘇や別府などの観光地、西郷隆盛、梅屋庄吉など九州にゆかりのある人物についての出題があり、日本に強い興味・関心を持つ香港の方々に九州の魅力を直接伝えることができました。合わせて、農家民泊、果物狩りをテーマにしたチラシの参加者約800名への配布も行いました。



○ 2011年度「第2回評議員会」を開催（10月26日：福岡市）

当機構の2011年度「第2回評議員会」を開催し、事務局から2011年度「第2回理事会」（11月10日、福岡市）にお諮りする以下の審議事項、報告事項についての説明を行いました。審議の結果、原案で理事会に諮ることとなりました。

< 審議事項 >

- ・ 役員の選任（案）、評議員の選任（案）、顧問委嘱の承認（案）、観光アドバイザーの委嘱（案）について
- ・ 2011年度補正予算（案）について

< 報告事項 >

- ・ 2011年度事業実施状況、「総合特区」申請、「なないろ九州バス」運行状況（上期）について



審議では「観光アドバイザー」の積極的な活用、「観光素材説明会・相談会」での各県アイデア等の反映、韓国・中国を中心とするメリハリのある「海外でのPR」、海外との新たな交通アクセスを踏まえた機構、県のプロモーション等についてご意見をいただき、今後の機構の取り組みに生かしていくことにしています。

○ 鉄道タイアップ「JRエージェント現地研修」を実施（10月27日～28日：天草、阿蘇・高千穂）

JR西日本管内の旅行会社を対象にした現地研修会を2コースに分けて開催し、天草コースは17名、阿蘇・高千穂コースに21名が参加しました。「天草コース」は今年10月にデビューした観光列車「A列車で行こう」の試乗、天草の教会遺産群やイルカウォッチングの視察、「阿蘇・高千穂コース」は特急「あそぼーい！」の試乗、乗馬体験、阿蘇神社周辺の散策、高千穂神社（高千穂町）や高千穂峡観光ルートの視察を行いました。



参加者のほとんどは、九州が初めてであり、参加者から「実際の企画業務や窓口業務の参考になった」との意見をいただき、現地研修は全般的に好評でした。

○ 中国「国際旅游交易会(CITM2011)」に出展（10月27日～30日：昆明市）

中国国家旅游局主催の「国際旅游交易会(CITM2011)」に出展し、九州の観光PRを行いました。同地では初めての出展となったことから、九州の基本的な観光情報の提供を中心にを行いました。日本からの参加が少ない中、九州のブースは多くの旅行業界関係者や一般市民が訪れ、効率的に九州について紹介しました。



同イベントは上海市と昆明市で交互に年1回開催されており、中国各地の主要な旅行会社等が参加するイベントであることから、次回も出展する予定です。

○ 日経BP社取材協力・特集発行（10月）

日経BP社「日経おとなのOFF」の特集「神の国のワイン」の取材に協力し、熊本ワイン、都農ワインを中心に、その周辺の観光地（熊本城、白川水源、高千穂峡、都農神社等）やワインを出すお店としてワインバーやイタリアンレストランのPRを行いました。



取材内容は、10月6日発売の日経BP社「日経おとなのOFF」（7万5千部発行）で紹介されました。

○ 集英社取材協力・特集発行（10月）

集英社「LEE」の特集「深津絵里が行く、九州縦断の旅」の取材に協力し、鹿児島グルメ（鹿児島ラーメン、鶏飯）や荒尾のうなぎ、博多の屋台の取材を行いました。合せて、その周辺の観光施設である、桜島、嘉例川駅、HANASAKAN Café の情報収集を行い、10月7日発売の集英社「LEE」（30万部発行）に紹介されました。なお、予定していた九州新幹線の取材及び福岡の吉塚うなぎの取材は、台風の影響により中止しました。



○ 台湾・MOOK出版九州ガイドブック発行（10月）

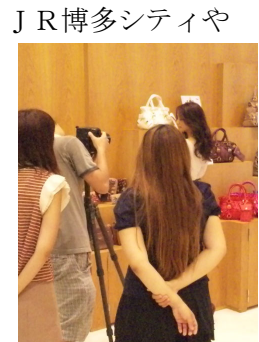
MOOK出版が8月1日～18日にかけて九州を精力的に取材し、好評の日本旅行のガイドブックシリーズ「ぶらぶら遊び」の九州版を台湾で10月18日に発売しました。同ガイドブックには、九州の列車の旅、自然、温泉をテーマにした特集ページが掲載されており、台湾の一般読者の興味・関心を高めることが期待されます。

MOOK出版は今年11月開催の台北国際旅行博（ITF2011）でもブースを出展して、同ガイドブックを販売する予定です。価格はNT\$350（10月末までは特別価格NT\$260）。



○ 小学館取材協力・特集発行（10月）

小学館「CanCam」の特集「山本美月と行く！今福岡が熱い！」の取材に協力し、JR博多シティや大名・今泉地区のセレクトショップのPRを行いました。また、旅の情報としての趣を出すために、福岡市内のイタリアンレストランや居酒屋、今年9月にオープンした「レソラ天神」「第2チャンネル」の取材も行われており、10月23日発売の小学館「CanCam」（40万部発行）で紹介されました。



◆ 九州観光推進機構からのお知らせ

○ 新入会員企業のご紹介

新たに次の企業が会員になりましたので、お知らせいたします。（敬称略）

- | | | |
|----------|-----|--------------------|
| ・株式会社三森屋 | 所在地 | 福岡県福岡市東区原田1丁目45-14 |
| | 代表者 | 代表取締役社長 森 重道 |

○ 11月以降の主な予定

- ・タイ「トラベラーズコンパニオン」誌招請（11月1日～7日：福岡、大分、鹿児島）
- ・中国「九州インバウンドビジネスフォーラム2011」開催（11月4日～9日：九州各地）
- ・2011年度「第2回理事会」開催（11月10日：福岡市）
- ・韓国「KBS2TV 映像アルバム山」取材（11月11日～14日：福岡、熊本、大分）
- ・台湾「台北国際旅行博出展」（11月11日～14日：台北市）
- ・「キレイになる九州旅体験女子会」開催（11月14日：東京）
- ・シンガポール「クルーズ・ SHIPPING・アジア2011」出展（11月16日～18日：シンガポール）
- ・韓国・インターネット系旅行会社招請（11月16日～11月20日：九州各地）
- ・「九州各県観光ボランティアガイド連絡協議会代表者会議」開催（11月18日：福岡市）
- ・香港・旅行会社等招請（11月21日～11月25日：九州各地）
- ・「VISIT JAPAN トラベルマート2011」出展（11月22日～23日：横浜市）
- ・「平成24年度上期観光素材説明会・相談会」開催（11月24日：広島、29日：福岡）
- ・「中部国際空港利用促進協議会・教育旅行説明会」参加（11月30日：名古屋市）
- ・「まちあるき観光セミナー」開催（12月1日～2日：鹿児島県薩摩郡さつま町）
- ・「東北・九州・沖縄合同観光展」開催（12月17日～18日：大阪市）
- ・中国・天津市教育関係者等招請（12月：九州各地）
- ・「西日本広域観光ルート開発 旅行会社ファミトリップ」実施（12月：九州各地）

◇◇お問い合わせ先◇◇

九州観光推進機構 企画部 松尾

TEL：092-751-2943 E-mail：info@welcomekyushu.jp